

2026 年度

入学試験問題

地歴・公民

〔歴史総合, 日本史探究〕

2 月 4 日

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. この冊子は 10 ページある。
3. 解答用紙はマークシート式解答用紙 1 枚で、別に配付する。
4. 本冊子に脱落、印刷不明瞭がある場合は、本試験中に試験監督者に申し出ること。
5. この教科を事前に申込みしていない場合は、受験できない。
6. 受験する教科は受験票に記載してある教科で、本日教科の変更はできない。
7. マークシート式解答用紙の記入上の注意
 - ①マークシート式解答用紙の解答欄は 45 問までであるが、問題の中にある設問数まで解答すること。(問題の中にある の数字が解答番号に対応している)
 - ②解答には、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
 - ③一度記入した解答を訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおすこと。
 - ④解答用紙を折り曲げたり、破ったり、汚したりしないこと。
 - ⑤解答欄への記入は、マークシート記入例にしたがって、正確にマークすること。
8. 上記の注意を守らない場合は、採点できないことがある。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

1945年5月、ドイツが無条件降伏すると、連合国やその他の国々の関心は、戦後処理と戦闘を継続している日本に向けられた。各国間でさまざまな会議が行われ、日本には無条件降伏が勧告された。⁽¹⁾しかし、日本がそれを受け入れなかったため、アメリカは日本に原爆を投下し、ソ連は宣戦布告して中国東北部などに攻め込んだ。これをうけて、日本は無条件降伏を受諾して休戦、9月2日に降伏文書に調印した。

戦後の国際秩序についても、戦争中から国際連盟に代わる国際安全保障機構を設立する構想が形づくられ、1945年10月に国際連合が発足した。国際連合では、全加盟国による総会の他に、安全保障理事会が設置された。総会の意思決定は多数決で行われたが、安全保障理事会の常任理事国⁽²⁾には拒否権が与えられた。経済面でもドルを基軸とした国際通貨体制が整備され、財政的に苦境に陥った国を援助する体制や、貿易の自由化を進めるための協定も締結された。

敗戦国日本では、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の下で、非軍事化、民主化を目的とする改革が進められた。憲法についてもGHQの指示により編纂が開始されたが、⁽³⁾日本政府が作成した草案は天皇の統治権を認めていた点でGHQに受け入れられず、GHQが作成した草案を基礎として、議会で修正可決されて新憲法が制定された。しかし、世界各国で社会主義化、共産化の流れが顕著になり、東西対立が深刻になると、日本に対する占領政策は、民主化よりも経済復興が優先され、日本にはアジアにおける資本主義陣営の一員としての役割が期待されるようになった。

敗戦後、日本は連合国の統治下に置かれてきたが、1951年のサンフランシスコ平和条約締結によって独立を回復した。⁽⁴⁾

問1 下線部(1)について、日本への無条件降伏勧告を発表した会談場所として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

1

- ① カイロ ② ワシントン ③ ポツダム ④ ヤルタ

問2 下線部(2)として誤っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

2

- ① 中国 ② インド ③ フランス ④ アメリカ

問3 下線部(3)について、戦後改革の中で行われたこととして誤っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

3

- ① 特別高等警察の設置 ② 教育委員会の設置
③ 天皇の神格否定 ④ 労働基準法の制定

問 4 下線部(4)について、日本と条約を締結した国として正しいものを、次の中から一つ選び、
番号で答えよ。

4

- ① イタリア ② ソ連 ③ フィリピン ④ 中華民国

Ⅱ 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

6世紀末、蘇我馬子は⁽¹⁾仏教の受容をめぐって対立していた ア を滅ぼし、崇峻天皇を暗殺した。その後即位した推古天皇は、甥の厩戸王（聖徳太子）、蘇我馬子とともに政治を行った。

⁽²⁾同じ頃、隋が中国を統一して、⁽³⁾周辺諸国へ進出し始めた。⁽⁴⁾日本は隋に対して使節を派遣し、留学生や留学僧も同行させて、隋の制度や文化・思想などを日本に取り入れようとした。隋からの影響も受けて、⁽⁵⁾推古天皇の下で政治改革が進められた。中国では隋に代わって唐が建国し、国家体制を充実させるとともに、対外的に勢力を拡大しようとしていた。日本では政治改革を進めた3人が相次いで亡くなり、蘇我蝦夷・入鹿が政治の実権を握った。しかし、中大兄皇子や中臣鎌足は、蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼし、天皇を中心とした強力な中央集権国家を目指した。中大兄皇子は自ら皇太子となり、都を イ に移した。年号を大化と定めた翌年には改新の詔とよばれる4か条の政治方針を発したといわれる。

問1 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。 5

- | | |
|------------------|------------------|
| ① ア 大伴金村 イ 大津 | ② ア 大伴金村 イ 難波 |
| ③ ア 物部守屋 イ 大津 | ④ ア 物部守屋 イ 難波 |

問2 下線部(1)について、蘇我氏が建てた寺として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。 6

- ① 法興寺 ② 法隆寺 ③ 大官大寺 ④ 薬師寺

問3 下線部(2)について、次の6世紀末の東アジアを示した地図のa・bに当てはまる国の組合せとして正しいものを、下の中から一つ選び、番号で答えよ。 7



- | | |
|----------------|----------------|
| ① a 百済 b 加耶 | ② a 百済 b 新羅 |
| ③ a 新羅 b 加耶 | ④ a 新羅 b 百済 |

問4 下線部(3)について述べた文として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

8

- ① 日本は隋と冊封関係を結ぼうとした。
- ② 高向玄理が最初の遣隋使である。
- ③ 隋からは裴世清が使者として派遣された。
- ④ 隋の僧観勒によって暦法が伝えられた。

問5 下線部(4)に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の中から一つ選び、番号で答えよ。

9

X 氏族に対して冠位を与えて、人材の登用を図った。

Y 憲法十七条では、仏教が政治理念の基礎とされた。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問6 下線部(5)が記されている書物として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

10

- ① 『古事記』
- ② 『帝紀』
- ③ 『天皇記』
- ④ 『日本書紀』

Ⅲ 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

⁽¹⁾11世紀末に院政が始まると、武士が直属の軍事力として組織された。なかでも、伊賀の莊園を院に寄進して政界に進出した桓武平氏が台頭した。平忠盛は として西国の受領をつとめた。清和源氏は、源為義が摂関家と結びつき、源義朝は東国の武士を結集し棟梁の地位を築いた。天皇家・摂関家それぞれの内部対立に起因した保元の乱は、武士の力によって決着がつけられ、九条家出身の慈円は で、この乱以後「武者の世」になったと述べた。続く平治の乱では、平氏と源氏が分かれて戦い、勝利した平氏の勢力は強まった。平清盛は太政大臣となり、娘の⁽²⁾徳子と高倉天皇の間に生まれた子が即位すると、外戚としても権勢を誇った。平氏の政治基盤は全国の半分を超すといわれる知行国などと西国の武士たちであった。また、平清盛は⁽³⁾大輪田泊を修築し、日宋貿易を積極的に推進した。しかし、しだいに平氏と院との関係が悪化し、平氏の専制政治に対する不満が高まった。この状況を踏まえて、以仁王と源頼政が平氏打倒を掲げて挙兵すると、各地の武士団や僧兵などが呼応し、戦いは全国的に拡大し5年にわたり継続した。⁽⁴⁾戦いが展開している間も、源頼朝は院からさまざまな権限と地位を得て、⁽⁵⁾幕府としての組織づくりを進めた。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えよ。 11

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|----------|
| ① ア 院近臣 | イ 『愚管抄』 | ② ア 院近臣 | イ 『栄華物語』 |
| ③ ア 西面の武士 | イ 『愚管抄』 | ④ ア 西面の武士 | イ 『栄華物語』 |

問2 下線部(1)について、天皇を退位して院政を始めた人物として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。 12

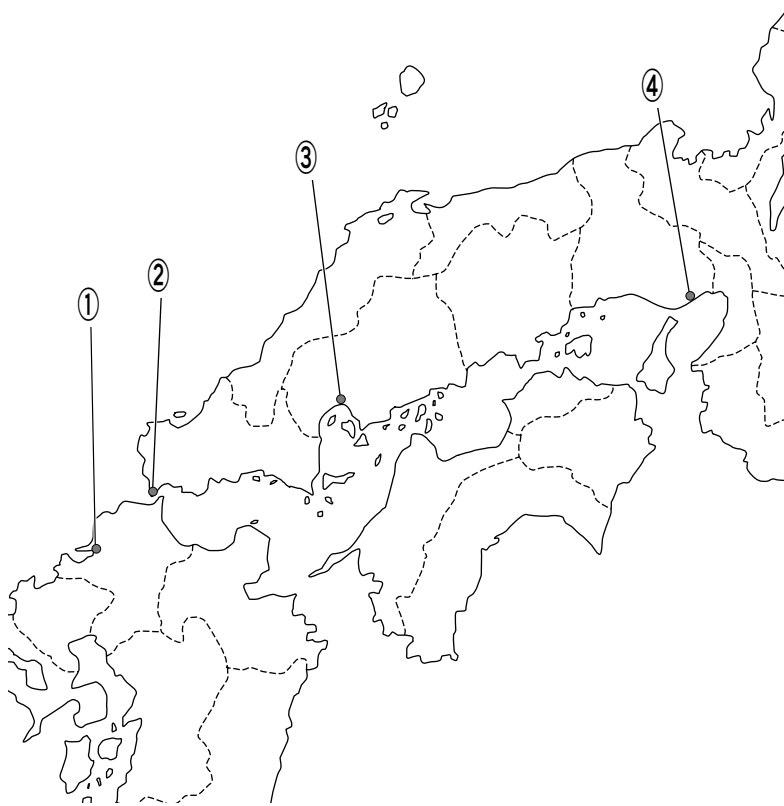
- ① 後三条天皇 ② 鳥羽天皇 ③ 白河天皇 ④ 宇多天皇

問3 下線部(2)の戦いで敗れた源頼朝が流された場所として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。 13

- ① 佐渡 ② 伊豆 ③ 讃岐 ④ 隠岐

問4 下線部(3)の場所として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

14



問5 下線部(4)について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に並べた組合せとして正しいものを、下の中から一つ選び、番号で答えよ。

15

- Ⅰ 頼朝が、守護・地頭を設置した。
- Ⅱ 平氏が、京都から逃れた。
- Ⅲ 後白河法皇が、頼朝の東国支配権を認めた。

- ① Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ ② Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ③ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ④ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問6 下線部(5)について、政務一般を扱う機関とその最初の長官となった人物の組合せとして正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

16

- a 問注所 b 公文所 c 大江広元 d 和田義盛

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

Ⅳ 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

⁽¹⁾明智光秀を山崎で破り織田信長の後継者となった豊臣（羽柴）秀吉は、支配下におさめた地域から検地を始めた。秀吉の検地は、土地を実際に測量して、その土地から見込める収量を算出し、それを「ア」で示すものであった。その前提として測量に用いる単位を全国的に統一し、容積を計るには「イ」を用いた。これにより経済力が全国同じ基準で把握できることになった。また、⁽²⁾耕作者を検地帳に記載し、土地・屋敷の所持を認めたことにより、荘園などにみられた土地に対する重層的な権利関係を整理した。江戸時代以降もこの政策は踏襲され、検地が完了していない地域や不十分であった地域に対しては、その地の領主などが検地を行った。検地を通して、領主は土地と領民を把握することになり、⁽³⁾検地帳に記載された百姓が一人前の百姓と把握され、さまざまな負担を負うことになった。⁽⁴⁾検地によって小規模な百姓が増えたため、農業も人力で集約的に行うようになり、それに適合した農具も普及した。また、検地によって区域や地目が確定した村は、領主が支配をいきわたらせ民政を展開するための基礎となる単位となった。それと同時に、⁽⁵⁾村は農業や祭礼などを共同して行い、協力し合いながら生活する場でもあった。

問 1 空欄「ア」「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

17

- ① ア 石高 イ 宣旨枡 ② ア 石高 イ 京枡
③ ア 貫高 イ 宣旨枡 ④ ア 貫高 イ 京枡

問 2 下線部(1)に関して、豊臣（羽柴）秀吉の全国統一の過程における出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に並べた組合せとして正しいものを、下の中から一つ選び、番号で答えよ。

18

- Ⅰ 伊達政宗を服属させた。
Ⅱ 賤ヶ岳の戦いで柴田勝家を破った。
Ⅲ 太政大臣となり、豊臣姓をもらった。

- ① Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ ② Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ③ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ④ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問 3 下線部(2)について、検地帳に記載された耕作者を示す語として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

19

- ① 名主 ② 地主 ③ 名子 ④ 名請人

問4 下線部(3)に関して、百姓の負担について述べた文として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

20

- ① 各村に対する年貢は、それぞれの領主が決定した。
- ② 百姓と城下町の町人には、同じように年貢が賦課された。
- ③ 宿駅は周辺の村から自由に人や馬を徴発することができた。
- ④ 漁業に対しては、役負担は課されなかった。

問5 下線部(4)について、江戸時代に発達した農具とその図の組合せとして正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

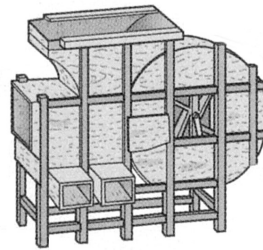
21

a 備中鍬

c

d

b 千歯扱



- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

問6 下線部(5)について、村や近隣の人々で行う共同作業を示す語として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

22

- ① 五人組
- ② 結
- ③ 村八分
- ④ 奉公

V 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

明治新政府は成立と同時に新たな国家・社会の構築に向けての基礎づくりに取り組んだ。⁽¹⁾地租改正事業が軌道に乗り、全国的に進捗するようになると、憲法の制定と国会の開設が次の重要な課題となった。民間でも明治政府に対する不満が高まっていたこともあり、憲法制定・国会開設を求める運動がさかんになった。それに対して政府側は1875年漸次立憲政体樹立の詔を出し、⁽²⁾憲法制定への準備を進めた。⁽³⁾憲法や国会のあり方については民間でもさまざまな意見が出され、それぞれの立場から憲法私案がつくられ、⁽⁴⁾政党が組織された。しかし、⁽⁵⁾民間の運動は政府の弾圧や指導部の懐柔策、運動の担い手の離脱や対立、さらには一部の急進的な行動とそれに対する弾圧などから、しだいに勢いを失った。一方、政府は一貫して君主の権限が強い立憲君主制を樹立しようと、伊藤博文をヨーロッパに派遣したり、ドイツの法学者 の助言を受けるなどして、憲法を起草した。それとあわせて内閣制度を定めるなどして環境を整え、1889年2月11日大日本帝国憲法が、天皇が定めて国民に与える形で発布された。この憲法においては、天皇は と位置づけられた。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。 23

- ① ア ボアソナード イ 日本および日本国民統合の象徴
- ② ア ボアソナード イ 国の元首にして統治権の総攬者
- ③ ア ロエスレル イ 日本および日本国民統合の象徴
- ④ ア ロエスレル イ 国の元首にして統治権の総攬者

問2 下線部(1)について、1875年までの出来事として誤っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。 24

- ① 政体書で政府の基本的な組織を規定した。
- ② えた・非人などの賤称が廃止された。
- ③ 神仏分離令が出され、寺院や仏像などが破壊された。
- ④ 五榜の掲示で、キリスト教の信仰が認められた。

問3 下線部(2)に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の中から一つ選び、番号で答えよ。 25

X 地租改正の前提として、土地の私有が認められ、土地所有者には地券が発行された。

Y 地租改正事業に反対する一揆が起こり、地租は地価の3パーセントから2.5パーセントに軽減された。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問4 下線部(3)について、この時に設置された立法機関として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

26

- ① 大審院 ② 枢密院 ③ 左院 ④ 元老院

問5 下線部(4)について、立憲改進黨の党首となった人物として正しいものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

27

- ① 板垣退助 ② 大隈重信 ③ 福地源一郎 ④ 松方正義

問6 下線部(5)に関して、この時期に起こった出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に並べた組合せとして正しいものを、下の中から一つ選び、番号で答えよ。

28

- Ⅰ 大同団結が提唱された。
Ⅱ 秩父事件が起こった。
Ⅲ 讒謗律が公布された。

- ① Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ ② Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ③ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ④ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ